

2024年度

# 環境経営レポート



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003866

Vol. 17



時代とともに 街とともに

**TATEYOSI**  
corporation

株式会社 建吉組

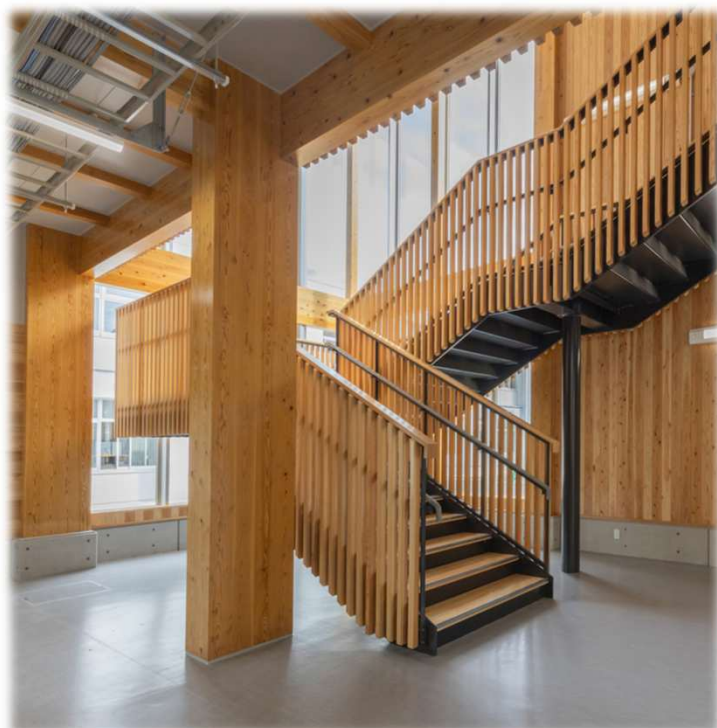
対象期間 : 2024年4月～2025年3月

発行日 : 2025年7月30日



## 熊本工業高等学校 実習棟

↓ 新実習棟と既存の各棟をつなぐ「テクニカルストリート」は、学びの空間を移動する通路として柱や壁、手すりに至るまで県産材を使用しています。日々ものづくりを学ぶ生徒たちに、自然とのつながりや地域資源の大切さを感じさせてくれる空間です。



## テクニカルストリート

← 熊本県産木材の温もりを活かした新たな学習環境を備える「新実習棟」が竣工しました。生徒たちがより実践的な技術を習得できるよう、専門分野に応じた学習空間を整備しており、教育の質の向上を目指しています。また、県産木材を活用することで、地域資源の循環利用を促進し、環境負荷の低減にも貢献しています。この新実習棟は、次世代の専門人材を育成する場として、今後ますます重要な役割を果たすことが期待されています。



↑ インテリア科の生徒たちが計画・製作した「案内板」は、創造力と技術力を活し、空間デザインとして見事に体现されています。



学びから始まるサステナブルな社会



専門的な技術教育に特化した実習施設



BIMにて環境負荷の少ない施工検討



再生可能な木材を利用した  
環境への配慮

表紙建物・・・熊本県立熊本工業高等学校  
設 計・・・(株)桜樹会・古川建築事務所  
竣 工・・・令和6年10月28日  
延床面積・・・3,877㎡

構 造・・・木造一部鉄筋コンクリート造  
木 造、鉄骨造  
木 材・・・465 ㎡  
木材に係る炭素貯蔵量・・・191t-CO<sub>2</sub>

# 目 次

1.事業概要	1
2.組織概要・対象範囲	2
3.課題とチャンス	2
4.環境経営方針	3
5.環境活動の実施体制（2024年度・2025年度）	4
6.環境への負荷実績・環境経営目標	5～8
7.2024年度環境経営計画の取組結果と評価	8～9
7-1.2025年度環境経営計画の取組内容	10
8.環境法規制遵守チェックリスト	11
9.建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
10.G E Oパワーシステム	12
11.年間行事（2024.4～2025.3）	13～17
12.S D G s の取組み	18
13.会社の取組み	19～22
14.2025年度の各部目標	23
15.代表者による全体評価と見直しの結果	24

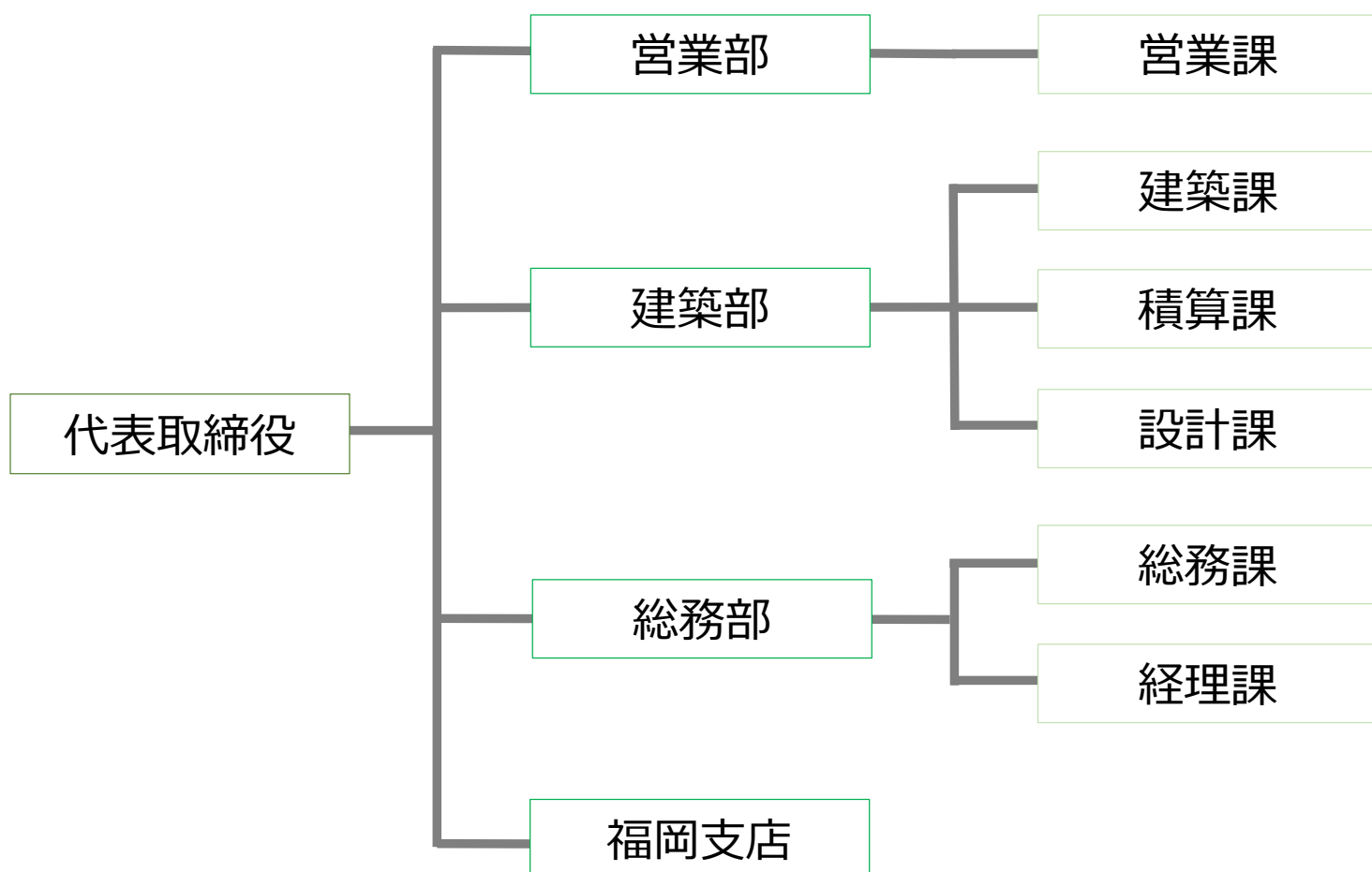
# 1. 事業概要

- 商号 株式会社 建吉組
- 代表者 代表取締役 笹原 健嗣
- 所在地 本 社 熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号  
福岡支店 福岡県福岡市南区塩原3-26-18-704  
室園倉庫 熊本県熊本市北区室園町20-14  
合志倉庫 熊本県合志市野々島4420番3
- 創業 大正 8 年 5 月 1 日
- 設立 昭和 19 年 4 月 19 日
- 事業内容 建設工事の企画・設計及び監理、建築工事の施工  
不動産の賃貸及び所有管理
- 資本金 1 億円
- 完工高 3 2 億円(令和6年度)
- 社員数 6 8 名
- 許可 建設業許可 国土交通大臣（特-4）第853号
- 登録 一級建築士事務所登録 熊本県知事 第100号
- 環境統括管理者 建築部 部長
- 環境管理担当者 総務部 総務課 主任
- 連絡先 TEL 096-343-1111 FAX 096-345-6711
- U R L <https://www.tateyosi.co.jp>
- 認証登録範囲

事業活動	特定建設業(建築工事業、大工工事業、左官工事業、石工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、建具工事業 解体工事業)
対象事業所	本社、福岡支店、室園倉庫、合志倉庫
認証範囲	全組織・全活動



## 2. 組織概要・対象範囲



## 3. 課題とチャンス

	課 題		チャンス		SDGs、ESG
外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社との価格競争</li> <li>・世界情勢の変化による資材の高騰と納入遅延</li> <li>・CCUSの促進</li> <li>・協力業者の高齢化・多国籍化、事業継承</li> <li>・労働力不足</li> <li>・気候変動と自然災害の増加</li> </ul>	外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の技術力の発信</li> <li>・顧客のニーズと期待に迅速・的確に対応</li> <li>・技能者の能力・経験等に応じた処遇改善</li> <li>・ICTを活用した生産性向上</li> <li>・社会的な環境配慮の高まり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮設計・資材活用の促進</li> <li>・脱炭素の推進</li> <li>・確かな品質の追求</li> <li>・ダイバーシティの推進</li> <li>・ブライト企業、健康経営優良法人の継続</li> <li>・協力業者育成支援</li> <li>・事業継続力強化計画認定の継続</li> </ul>
内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計施工の提案力・特命受注率の向上</li> <li>・若手社員の定着率、育成</li> <li>・ベテラン社員による技術(ノウハウ)の継承</li> <li>・定期点検の実施</li> <li>・上限規制への対応</li> <li>・健康診断での有所見率の低減</li> </ul>	内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上による利益率向上</li> <li>・デジタル化の推進</li> <li>・技術(ノウハウ)による品質力の向上</li> <li>・企業価値の創出</li> <li>・ワークライフバランスの向上</li> <li>・個人の健康宣言による健康意識向上</li> </ul>		<div>KPI</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計BIM、デジタルモックアップ等の提案によるお客様満足度の向上</li> <li>・週休2日実施</li> <li>・企業品質の向上</li> <li>・技術系女性社員比率の向上</li> <li>・建古会青年部会での教育研修</li> </ul>

## 4. 環境経営方針

株式会社建吉組は地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次の環境経営方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 顧客に対して環境配慮した製品提案と省エネに配慮した設計に努めます。
4. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 二酸化炭素総排出量の削減
  - (2) 産業廃棄物排出量の削減
  - (3) 資源の節約
  - (4) グリーン購入
  - (5) 地域貢献
  - (6) 化学物質の適正管理
  - (7) 環境教育への取組
  - (8) 経営における課題と機会を踏まえる
5. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。

上記の方針達成の為に目標を設定し定期的に見直し環境活動を推進します。

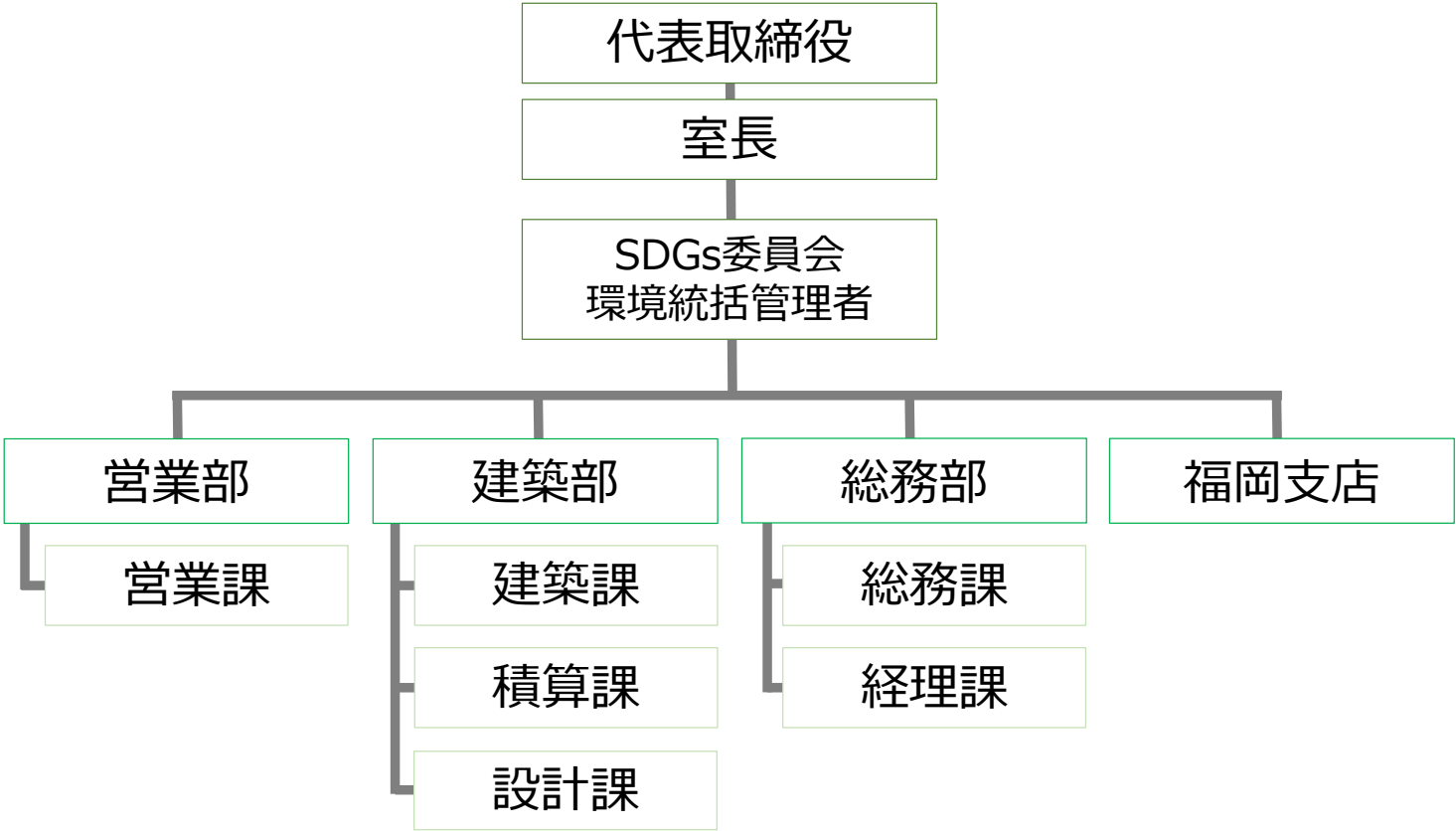
2008年6月1日 制定  
2024年4月1日 改訂

株式会社 建吉組

代表取締役 笹原 健嗣



5 . 環境活動の実施体制 - 2024年度・2025年度 -



順位	主な責任と権限
代表者（社長）	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境統括管理者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境活動への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の承認
環境統括管理者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規の取りまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表
環境管理担当者（事務局）	環境経営における事務局としての環境統括管理者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 内部監査の実施
SDGs委員会	環境経営の事務所・現場における記録と事務局への報告 社内におけるSDGs活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告 環境関連法規の取りまとめ及び環境経営レポートの作成、環境統括管理者への報告
社員	環境経営方針、環境目標に沿った環境活動の展開 SDGs活動における改善点の提言

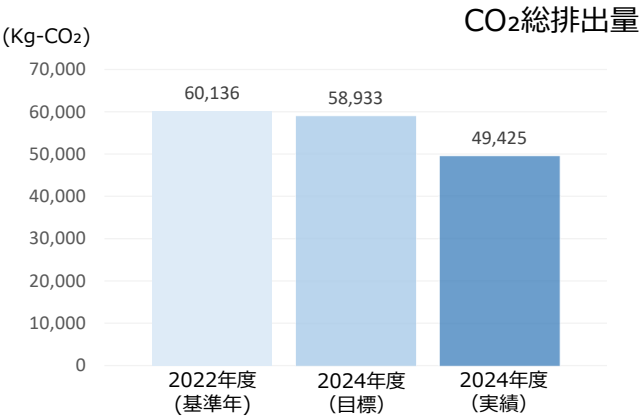
6. 環境への負荷実績・環境経営目標

事務所

CO2総排出量・電力・ガソリン他						
評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)						
項目	2022年度 (基準年)	2024年度				
	実績	目標 (-2%削減)	実績	前年比	達成度	評価
CO2 総排出量※	60,136 kg-CO2	58,933 kg-CO2	49,425 kg-CO2	-11%	100%	A
ガソリン	6,796 ℓ	6,660 ℓ	3,853 ℓ	-22%	100%	A
軽油	7,839 ℓ	7,682 ℓ	5,446 ℓ	-35%	100%	A
灯油	0 ℓ	0 ℓ	0 ℓ	—	—	—
電力	62,298kWh	61,052kWh	69,203kWh	+18%	88%	B

※CO2総排出量 … ガソリン・軽油・灯油・電力の各CO2排出量の合計  
※電力のCO2排出量は2022年度九州電力(株)調整後排出係数(0.382kg-CO2/kWh)にて計算。基準年度も同係数に換算し計算。

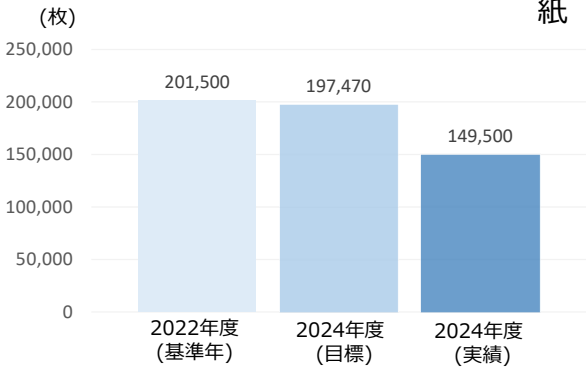
中期目標			
項目 (基準年比)	2024年度 (-2%削減)	2025年度 (-3%削減)	2026年度 (-4%削減)
CO2 総排出量	58,933 kg-CO2	58,331 kg-CO2	57,730 kg-CO2
ガソリン	6,660 ℓ	6,592 ℓ	6,524 ℓ
軽油	7,682 ℓ	7,603 ℓ	7,525 ℓ
灯油	0 ℓ	0 ℓ	0 ℓ
電力	61,052 kWh	60,429 kWh	59,806 kWh



水・紙・地域貢献・グリーン購入						
評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)						
項目	2022年度 (基準年)	2024年度				
	実績	目標 (-2%削減)	実績	前年比	達成度	評価
水資源	56m³	54m³	86m³	+56%	63%	B
紙	201,500枚	197,470枚	149,500枚	-0.02%	100%	A
地域貢献	6回	6回	6回	±0%	100%	A
グリーン購入※	45%	55%以上	54.2%	+14%	99%	A

※(グリーン購入)=(グリーン購入法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

中期目標			
項目 (基準年比)	2024年度 (-2%削減)	2025年度 (-3%削減)	2026年度 (-4%削減)
水資源	54m³	54m³	53m³
紙	197,470枚	195,455枚	193,440枚
地域貢献	6回	6回	6回
グリーン購入	55%以上	60%以上	65%以上





CO<sub>2</sub>総排出量

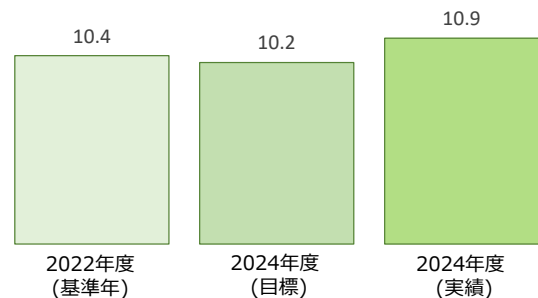
完成工事高百万円あたり[実数]

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度 (基準年)	2024年度				
	実績	目標 (-2%削減)	実績	前年比	達成度	評価
CO <sub>2</sub> 総排出量	10.4 [34,867] kg-CO <sub>2</sub>	10.2 kg-CO <sub>2</sub>	10.9 [34,598] kg-CO <sub>2</sub>	-62%	94%	A

CO<sub>2</sub>総排出量 (Kg-CO<sub>2</sub>)

中期目標			
項目 (基準年比)	2024年度 (-2%削減)	2025年度 (-3%削減)	2026年度 (-4%削減)
CO <sub>2</sub> 総排出量	10.2 kg-CO <sub>2</sub>	10.1 kg-CO <sub>2</sub>	10.0 kg-CO <sub>2</sub>



## 水・紙・地域貢献・グリーン購入

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度 (基準年)	2024年度				
	実績	目標 (-2%削減)	実績	前年比	達成度	評価
水資源	318m <sup>3</sup>	311m <sup>3</sup>	941m <sup>3</sup>	-44%	33%	C
紙	112,500枚	110,250枚	154,700枚	-3%	71%	B
グリーン購入※1	32.0%	42%以上	39.8%	-20%	95%	A
化学物質の 適正管理	適正管理	ホルムアルデヒド発散建材の受入検査記録を 適正に管理しました。				A

※1 (グリーン購入)=(グリーン購入法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

中期目標			
項目 (基準年比)	2024年度 (-2%削減)	2025年度 (-3%削減)	2026年度 (-4%削減)
水資源	311m <sup>3</sup>	308m <sup>3</sup>	305m <sup>3</sup>
紙	110,250枚	109,125枚	108,000枚
グリーン購入	42%以上	47%以上	52%以上
化学物質の 適正管理	適正管理		



▲地域貢献活動の一つで、現場事務所近隣を  
住民の方々が過ごしやすい環境で生活してい  
ただけるように清掃活動を行っています。

## 産業廃棄物の再資源化率

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

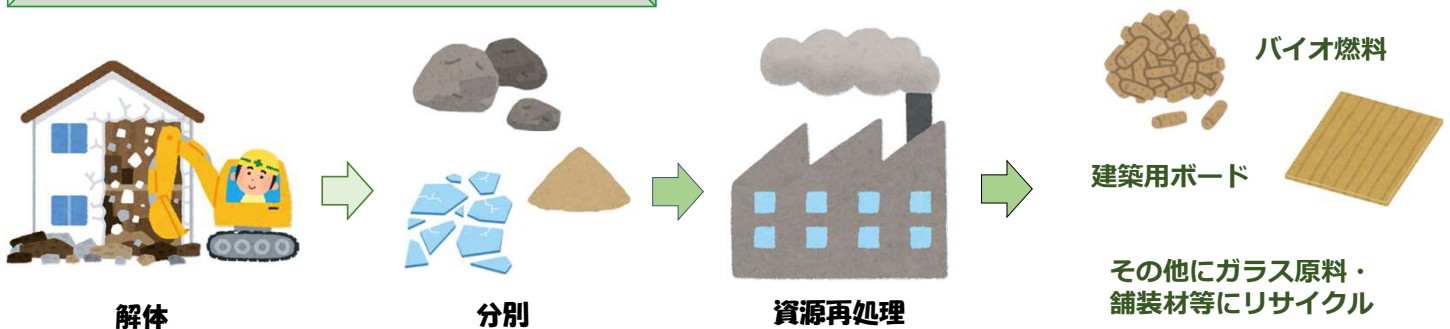
項目	2022年度 (基準年)	2024年度			
	実績	排出量	目標	実績	評価
アスファルトがら	100%	123.02 t	99%以上	100%	A
コンクリートがら	100%	246.11 t	99%以上	99.7%	A
建設発生木材	100%	67.90 t	97%以上	100%	A
建設汚泥	—	879.47 t	90%以上	100%	A
建設混合 廃棄物	69.0%	227.81 t	63%以上	79.1%	A



▲ 産業廃棄物に関しては混合廃棄物処理ではなく、細かくフレコン等を使い分別し、産業廃棄物で処理しています。

中期目標（再資源化率）			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
アスファルトがら	99%以上	99%以上	99%以上
コンクリートがら	99%以上	99%以上	99%以上
建設発生木材	97%以上	97%以上	97%以上
建設汚泥	90%以上	90%以上	90%以上
建設混合廃棄物	63%以上	63%以上	63%以上

## 廃棄物の適正処理とリサイクルの推進



一般ごみ(事務所)			
項目	2023年度	2024年度	前年比
燃えるゴミ	401.0	395.0	-6.0
シュレッダーゴミ	73.4	113.8	40.4
新聞・雑誌	214.2	267.5	53.3
段ボール	205.3	170.4	-34.9
ペットボトル	58.8	60.6	1.8
缶	8.5	16.7	8.2

(kg)

事務所でも  
2020年11月より  
一般ごみの  
計量スタート！  
継続して実施して  
います。



## CO<sub>2</sub>総排出量

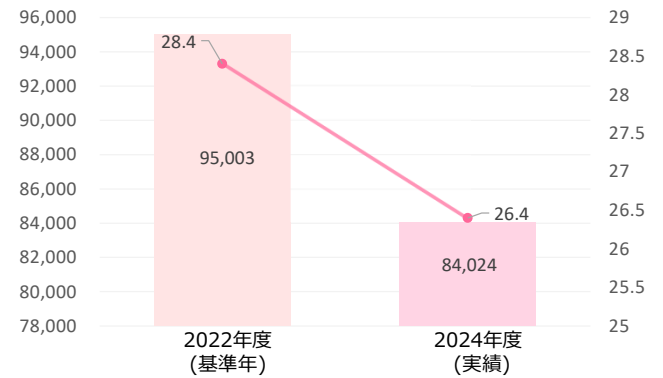
(完成工事高百万円あたり)

項目	2022年度 (基準年)	2024年度
	実績	実績
CO <sub>2</sub> 総排出量	95,003 (28.4) kg-CO <sub>2</sub>	84,024 (26.4) kg-CO <sub>2</sub>

※会社全体CO<sub>2</sub>総排出量…事務所・現場のCO<sub>2</sub>総排出量の合計  
 2022年度：事務所 60,136kg-CO<sub>2</sub>、現場 34,867kg-CO<sub>2</sub>  
 2023年度：事務所 55,437kg-CO<sub>2</sub>、現場 91,804kg-CO<sub>2</sub>  
 2024年度：事務所 49,425kg-CO<sub>2</sub>、現場 34,598kg-CO<sub>2</sub>

(Kg-CO<sub>2</sub>)

(完成工事高  
百万円あたり)



## 7. 2024年度環境経営計画の取組結果と評価

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<b>【事務所】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動</li> <li>導入しているGEOパワーシステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減</li> <li>社有車を購入する際は燃費重視の車を選定</li> <li>EV車の導入</li> <li>太陽光発電によるEV車の充電利用</li> <li>オンライン会議を積極的に利用し、移動による労働時間とCO<sub>2</sub>排出やエネルギーの削減</li> <li>クールビズ、ウォームビズの実施</li> </ul> <b>【現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>冬場の暖房器具は室内温度20度を目処に調節する</li> <li>使用していない重機はエンジンを止め、CO<sub>2</sub>削減に努める</li> </ul>	<b>【事務所】</b> A  <b>【現場】</b> A	事務所・現場ともに目標を達成することができました。 地中熱を利用したGEOパワーシステムの有効活用と空調機の稼働時間見直しにより、CO <sub>2</sub> 削減に繋げることができました。引き続き、DX化による省エネルギー化にも取り組み、更なるCO <sub>2</sub> 排出量削減に挑戦していきます。
総排水量の削減	<b>【事務所・現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動ストップ機能付きの水栓を利用し、出る水量を削減</li> <li>蛇口の水圧を調整して、出る水の量を削減</li> <li>蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起</li> <li>水道施設がない場所では、雨水タンクを利用する。1日に使用する水量を決め、節水に努める</li> </ul>	<b>【事務所】</b> B  <b>【現場】</b> C	事務所・現場ともに目標を達成することができませんでした。 事務所の増床と猛暑日対策による使用量増加が原因ですが、今後も気候変動による気温上昇を注視しながら、作業者の健康と安全の両立を図り、水量削減に取り組みます。
紙資源の節約	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う</li> <li>ミスプリント用紙は裏紙として再利用</li> <li>電子メディアを利用し、ペーパーレス化を推進</li> </ul>	<b>【事務所】</b> A  <b>【現場】</b> B	事務所、現場ともに昨年度の紙使用量を下回りましたが、現場の目標を達成することができませんでした。 現在の取り組みと合わせて、両面印刷や縮小印刷の推進など、地道な活動の継続により資源節約を目指します。

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
地域貢献活動	<p>【事務所・現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援（支援団体への寄付）</li> <li>・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪)年2回の清掃活動を実施</li> <li>・社員及び協力業者と福祉施設等を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア 年1回)</li> <li>・設立記念日に本社構内で献血活動</li> <li>・フードドライブへの参加（地域の福祉団体や施設）</li> <li>・募金式自動販売機設置</li> <li>・こどもひなんの家を設置</li> <li>・建築協会主催の清掃・献血活動への参加</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場事務所近隣での定期的な清掃活動を実施</li> </ul>	A	<p>今回から、ペットボトルキャップの回収について、事務所・現場に加えてテナント様への周知も行いました。その結果、昨年に比べて回収数・重量ともに約1.6倍に増加しました。</p> <p>今年度から地域子どもたちが緊急時に安心して駆け込める「こどもひなんの家」を設置しました。</p> <p>また、現場では週1回程度、近隣道路などの美化活動にも取り組んでいます。</p> <p>今後も、持続可能な地域づくりへ全社員で地域貢献活動を推進していきます。</p>
グリーン購入	<p>【事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品等はエコ情報マーク製品を優先して購入する</li> <li>・詰め替え商品・リターナブル容器入りを購入する（筆記用具・洗剤・ソープ等）</li> <li>・設計において、グリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク)の資材・設備等を1物件2件以上提案し、環境配慮設計に努める</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する</li> <li>・購入担当者である本社総務課で商品を選定し、グリーンマーク商品を優先して購入する</li> </ul>	<p>【事務所】</p> <p>A</p> <p>【現場】</p> <p>A</p>	<p>今年度、事務所現場ともに目標達成することができました。</p> <p>要因としては、値段や品質、利便性、デザインを優先せずに環境負荷が小さいものを購入する取り組みが社内に浸透し、これまでの取組が徹底されてきたことと、備品等の管理を徹底することで物を大切にする意識が高まったことがあります。</p> <p>今後も、取り組みを継続していきます。</p>
化学物質の適正管理	<p>【現場・合志倉庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理する。</li> <li>・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする</li> <li>・保管庫は施錠し厳重に管理する</li> <li>・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底</li> </ul>	A	<p>ホルムアルデヒド発散建材料の管理に関しては、内装及び塗装工事の使用材料を対象とし、使用材料がF☆☆☆☆の材料を適正に使用したかの記録を残しています。また、教育施設や事務所等の竣工時には指定場所の化学物質濃度測定を実施しています。保管庫については内部監査時に確認し、適正管理ができていました。</p>
産業廃棄物の排出量の削減	<p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物管理票（マニフェスト）に基づき適正に処理する</li> <li>・再生利用及び再生利用率を向上させる</li> <li>・廃棄物の削減</li> <li>・リサイクル資源の使用</li> </ul>	A	<p>今年度は、廃棄物の適正管理により、各項目において目標を達成しました。</p> <p>継続して目標を達成できるよう使用材料などを工夫し、再資源化率向上を推進していきます。</p>



評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

※F☆☆☆☆…ホルムアルデヒドを発散する可能性がある材料に付される、発散量を示す等級の最上位規格



# 7-1. 2025年度環境経営計画の取組内容

重点項目	主な取組み内容
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<p>【事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動</li> <li>・導入しているGEOパワーシステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減</li> <li>・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定、EV車の導入検討</li> <li>・社有車によるエコドライブ(エコサム)の実施</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの実施</li> <li>・事務所改修時の環境配慮型及び木質化</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の暖房器具は室内温度20度を目標に調節する</li> <li>・Web会議促進による車両移動を減らし、CO<sub>2</sub>削減に努める</li> <li>・省エネ型・ハイブリッド型の建設機械の使用</li> <li>・時差出勤し渋滞緩和に努める</li> </ul>
総排水量の削減	<p>【事務所・現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ストップ機能付きの水栓を利用したり、蛇口の水圧を調整して出る水量を削減</li> <li>・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起を行う</li> <li>・水道施設がない場所では、雨水タンクを利用する。1日に使用する水量を決め、節水に努める</li> </ul>
紙資源の節約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う</li> <li>・ミスプリント用紙は裏紙として再利用、社内で用紙の利用の際は複数(4ページ)を1枚で印刷する</li> <li>・書面の電子化</li> <li>・ICTを活用し、ペーパーレス化・業務効率化に努める</li> </ul>
地域貢献活動	<p>【事務所・現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる</li> <li>・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪) 年2回の清掃活動を実施</li> <li>・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア)</li> <li>・設立記念日に本社構内で献血活動</li> <li>・フードドライブの参加</li> <li>・募金式自動販売機設置</li> <li>・こどもひなんの家を設置 子どもの安全確保を目的に協力体制を整備</li> <li>・建築協会の清掃・献血活動への参加</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場事務所近隣の清掃活動を実施</li> <li>・災害時ボランティア活動を実施</li> </ul>
グリーン購入	<p>【事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品等はエコ情報マーク製品を優先して購入する</li> <li>・詰替え商品・リターナブル容器入りを購入する(筆記用具・洗剤・ソープ等)</li> <li>・近隣挨拶時にはオリジナルトイレットペーパーを配付</li> <li>・設計において、デザインレビュー時と設計仕様書にグリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク)及び環境配慮資材・材料・設備等を1物件1件以上提案を記載し、環境配慮設計に努める</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装仕上げ材は、ホルムアルデヒド放散量の少ないF☆☆☆☆製品を使用する</li> <li>・現場員は、再生PET繊維50%以上の作業服を着用</li> </ul>
化学物質の適正管理	<p>【現場・合志倉庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理する</li> <li>・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする</li> <li>・保管庫は施錠し厳重に管理をおこない、管理責任者を明確にする</li> <li>・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底</li> </ul>
排出量の削減	<p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する</li> <li>・再生利用及び再生利用率を向上させる</li> <li>・廃棄物の削減</li> <li>・リサイクル品の使用</li> </ul>



主な環境法規制等	届出、作業等	遵 守 事 項
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託基準 1.委託先の許可確認 2.委託契約の締結 3.契約書の5年間保存 マニフェストの交付 1.交付義務 2.回収・照合(発行後B2,D票90日、E票180日以内) 3.保管(5年間) 未回収戻り票の報告 「交付状況報告」
	廃棄物の処理	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置
	特別管理産業廃棄物管理責任者、排出事業所、排出報告の届出、多量排出事業者計画届出	知事・市長へ届出 (届出期間、様式は条例等規定)
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上 ・新築・増築工事-500㎡以上 ・修繕・模様替工事-1億円以上 ・その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上	・発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出、発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用
騒音規制法	杭打ち機、ブレーカー、空気圧縮機等を使用する作業	・建設予定地の市町村へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下
振動規制法	杭打ち機、杭抜き機、ブレーカー、舗装版破碎機を使用する作業	・建設予定地の市町村へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下
下水道法	公共下水道への排水	・公共下水道管理者にあらかじめ届出 ・排水基準(有害物質は排水基準を定める総理府令)、生活環境項目については、条例による。
フロン排出抑制法(特定解体工事元請業者が特定解体工事発注者に交付する書面に記載する事項を定める省令) 平成27年4月施行	業務用冷凍空調機器の管理者による冷房管理 解体工事(改修工事)	・全ての第1種特定製品を対象とした簡易点検の実施(3カ月に1回以上) ・一定の第1種特定製品について、専門知識を有する者による定期点検の実施(7.5kW以上の冷凍冷蔵機器：1年に1回以上 50kW以上の空調機器：1年に1回以上 7.5～50kWの空調機器：3年に1回以上) ・解体前にフロン類機器設置有無を確認、発注者に書面説明 ・第1種特定製品管理者は当該フロン類機器を第1種70ノ類充填回収業者に引き渡さなければならない ・機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の回付と保存及びフロン類充填回収業者の「引取証明書」の受理と写しの保存(3年間) (平成19年10月1日施行)
建築物省エネ法	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	・適合性判定：確認済証発行前(非住宅2,000㎡以上) ※令和6年4月より用途毎に基準値引き上げ予定 ・届出：工事着手予定の21日前(300㎡以上) ・認定：工事着手の前まで(認定基準を満たすこと)
改正石綿障害予防規則	石綿(アスベスト)含有の有無の事前調査 ・解体部分の延床面積-80㎡以上 ・改修工事の請負金額-100万円以上	元請業者の責務 ・協力業者(関係請負人)が法令に違反しないよう必要な指導 ・作業間の連絡調整、作業場所の巡視 ・協力業者が行う労働者の安全衛生教育に対する指導・援助

9 . 建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無

11

環境関連法規制の遵守状況をチェックしたところ、違反は有りませんでした。  
また、現時点まで関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟についても問題ありません。

# 10. GEOパワーシステム

Geothermal・・・地中熱利用

Economical・・・エコで経済的

Oasis・・・癒しとくつろぎ

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



地中熱とは

GEOパワーシステムは、地中熱を活用して建物全体を緩やかに空調し、冷暖房の負荷を軽減する24時間換気システムです。

地中に蓄えられた自然の熱エネルギーで、年間を通じて安定した温度を保ちます。GEOパワーシステムは、地下約5～7.5mの温度を利用し、外気のように大きな変化がないため、夏はほんのり涼しく、冬はほんのり温かい空気を建物に取り入れることができます。

ジオパワーシステムは  
地球(人類)に貢献しています。

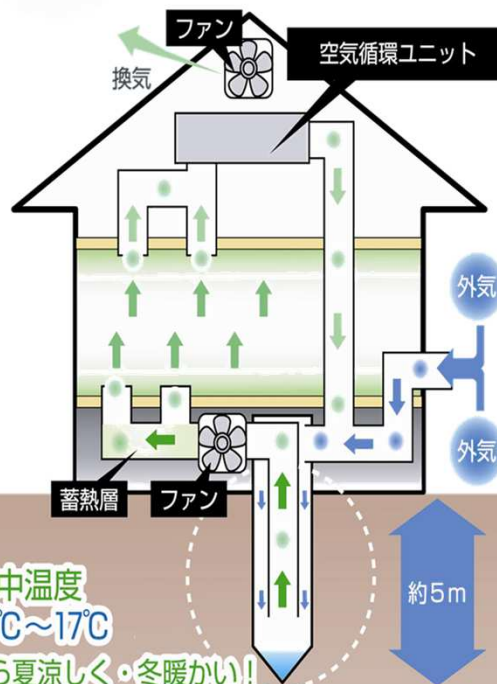


住宅にジオパワーシステムを導入すると、1年間あたり、約1トンのCO<sub>2</sub>の削減となります。これはガソリン車の約半年分の走行距離(3,000km)と同等の削減をしていることとなります。

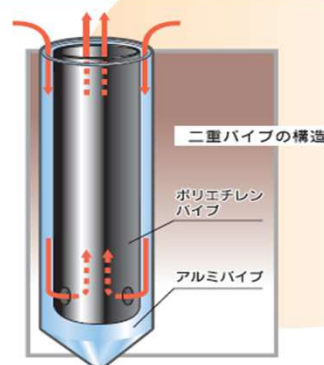
## 導入のメリット

- ・ 温室効果ガスの排出抑制
- ・ ランニングコストの削減
- ・ 体に優しい自然に近い温度での空調
- ・ 空気浄化機能
- ・ 環境教育、企業の社会的責任 (CSR)
- ・ 補助金によりイニシャルコスト削減が可能なケースあり
- ・ 節電対策

## 施工例



## GEOパワーシステム 粉塵除去のしくみ



GEOパイプは二重構造になっており、地中で熱交換した外気を効率良く取り込むことができます。また、空気を浄化する機能もあり、取り込んだ空気中に含まれる花粉・チリ・ホコリなどを80%以上除去します。

## ▼GEO吹出口



社内でも地中熱を利用し、自社の省エネ化を進めています。



教育施設・保育施設・介護施設などで採用されています。



教育施設にて増設工事を行いました。(2024年)





# 11. 年間行事 (2024.4～2025.3)

## 設立記念献血

2024.5.16

3 すべての人に  
健康と福祉を



85名の方に  
ご協力頂きました



## 美化ボランティア

2024.4.26/10.30

11 住み続けられる  
まちづくりを



15 陸の豊かさも  
守ろう



地域環境の保護を  
目的として、春と  
冬の年に2回、本  
社周辺の清掃活動  
を行っております。



往復1.2kmの歩道  
と側溝付近のゴミ  
拾いや草取りを行  
いました。  
参加者で協力し、  
綺麗にすることが  
できました。

## 防災訓練

2024.6.5 〈水害〉

土のう作り、土のう積み、水中ポンプ・発電機・  
バレーン照明機の操作訓練を実施しました。  
災害時に必要な機材の操作を一人でも行えるよう  
訓練しています。



土のう作り



水中ポンプの操作訓練

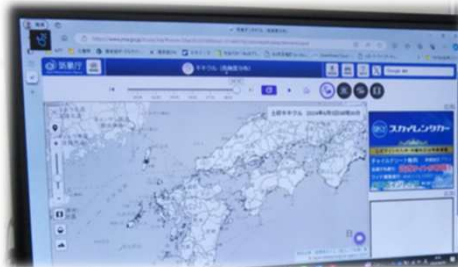
2024.9.25 〈地震〉



熊本地方を震源とする  
地震が発生し、本社周  
辺でも停電と断水が発  
生したと仮定し、防災  
訓練を実施しました。

### 緊急連絡訓練

安否確認アプリ「Biz安否確認」に加え、  
災害対策ブロックごとにLINEグループを作  
成し、安否確認を行いました。複数の現場  
が稼働しているため、TeamsやFaceTime  
に加え、今回からLINEのビデオ通話も活用  
し、各現場の状況報告を行う訓練も実施し  
ました。



キキクルや  
ハザードマップで稼働  
現場付近で浸水箇所が  
ないか確認しました。



発電機の起動確認とエンジンオイル交換



## 建吉組安全大会、設立80周年祝賀会

2024.6.1

8 働きがいも  
経済成長も



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



安全大会



優良作業所や優良協力業者  
の表彰を行っています。



今年度は、設立80周年を迎え、  
祝賀会を開催しました。  
ステージイベントも行い、  
節目の年を祝いました。

## (一社)熊本県建築協会安全大会

2024.6.26

(一社)熊本県建築協会主催の  
第37回安全大会へ社員15名、  
協力会社60名が参加しまし  
た。

今後も、社員全員が安全の担  
い手であるという意識を持ち、  
継続的な安全管理の強化に取り  
組んでまいります。



## EA21更新審査

2024.8.7~8.8



審査員より評価と提案事項  
をいただきました。  
審査後は反省会議を行い、  
課題や改善点について話し  
合っています。

3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



## 安全週間

2024.7.1~7.7

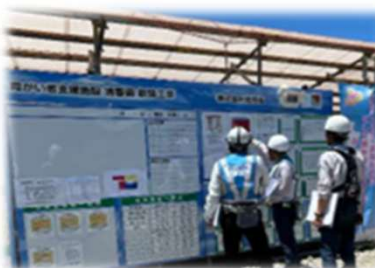
- 7月1日(月) 趣旨徹底の日  
安全祈願祭
- 7月2日(火) 総点検の日
- 7月3日(水) 安全パトロールの日
- 7月4日(木) 安全教育の日
- 7月5日(金) 反省の日
- 7月6日(土) 休養の日
- 7月7日(日) 安全の日



安全祈願祭



工事用機械点検・整備の実施



安全パトロール



反省会議の開催

3 すべての人に  
健康と福祉を



11 住み続けられる  
まちづくりを



安全パトロールで  
見つかった安全指示事項  
にはすぐに対応し、  
改善しています。

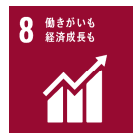




## 社員研修旅行（台湾3泊4日の旅）

2024.5～6

2班に分かれて台湾を訪れ、現地の建築物を見学しました。



陶朱隱園



台北101



台北表演芸術センター



九份



国立故宮博物院



院内展示品鑑賞



国立故宮博物院は、世界四大博物館の一つで収蔵品数は約69万点に及びます。宮殿風の壮麗な外観は、台湾の歴史と文化を象徴しています。

中正紀念堂は、初代中華民国總統の蒋介石を記念して建てられた建物で、伝統的な中国建築様式と現代技術が融合した、象徴性の高い建物です。台湾の観光地も訪れ、充実した時間を過ごしました。



中正紀念堂



## ウォーキングイベント

社員の健康促進を目的として、参加者を募り月に1回ウォーキングイベント行っています。



▲坪井川緑地公園



本社付近の1周約1.2 k mのウォーキングコースを2周して汗を流しています。

2.4 k mのウォーキングで平均3,700歩です。





## ▶ インターンシップ



▲測量体験中

高校生・専門学生・大学生のインターンシップを年6回、計11名受け入れました。

## ▶ ボウリング大会

2024.7.26



ボウリングを通じて、社員と協力会社の皆様との親睦を深めることができました。



## ▶ 衛生週間 2024.10.1～10.7



10月1日(火) 趣旨徹底の日  
10月2日(水) 総点検の日  
10月3日(木) 衛生パトロールの日  
10月4日(金) 避難・救護訓練の日  
健康診断推進の日  
10月5日(土) 家族健康の日  
10月6日(日) 休養の日  
10月7日(月) 反省の日

健康診断をはじめ、ストレスチェックや労働災害防止のための教育も実施しています。



朝礼にて社長メッセージ代読・行事予定説明状況



AED等の緊急事態に関する教育の実施状況



安全衛生保護具の使用状況の確認



パトロール実施状況

## ▶ 建築の日 2024.11.11



11月11日は「公共建築の日」です。

社会貢献活動の一環として、一般社団法人熊本県建築協会主催で行われている公共公園のトイレ清掃と献血活動に毎年参加しています。本社付近の公園のトイレ清掃を行いました。





## 消防訓練

2024.11.12



火災発生時、安全に避難できるよう消防署の方とビルの関係者全員で消防訓練を実施しております。

はつじん車の要救護者訓練



水消火器の訓練



## 法令講習

2024.12.2



熊本中央警察署交通第一課の方を講師にお招きし、「改正道路交通法・飲酒運転防止について」講義を行っていただきました。

### 飲酒運転根絶宣言

飲酒運転の禁止	
【酒酔い運転】	5年以下の懲役または100万円以下の罰金
【酒気帯び運転】	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
車両等の提供禁止	
【酒酔い運転】	5年以下の懲役または100万円以下の罰金
【酒気帯び運転】	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
酒類の提供禁止	
【酒酔い運転】	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
【酒気帯び運転】	2年以下の懲役または30万円以下の罰金
同乗の禁止	
【酒酔い運転】	3年以下の懲役または50万円以下の罰金
【酒気帯び運転】	2年以下の懲役または30万円以下の罰金

- ◎ 飲酒運転は、絶対にしません
- ◎ 家族や職場の同僚に、飲酒運転はさせません
- ◎ 運転する人には、お酒はすすめません
- ◎ 飲酒してる人に、車両は貸しません
- ◎ 飲酒運転の車に、同乗しません
- ◎ 適量、酒癖を把握します
- ◎ 節度ある適切な飲酒に、心がけます

令和6年12月2日

株式会社建吉組

## 企業ボランティア

2024.12.7



今回で33回目を迎えました。  
例年11月に行っていましたが、  
訪問先の大掃除も兼ねて12月に行いました。

## 建吉組・建吉会新年会

2025.1.4

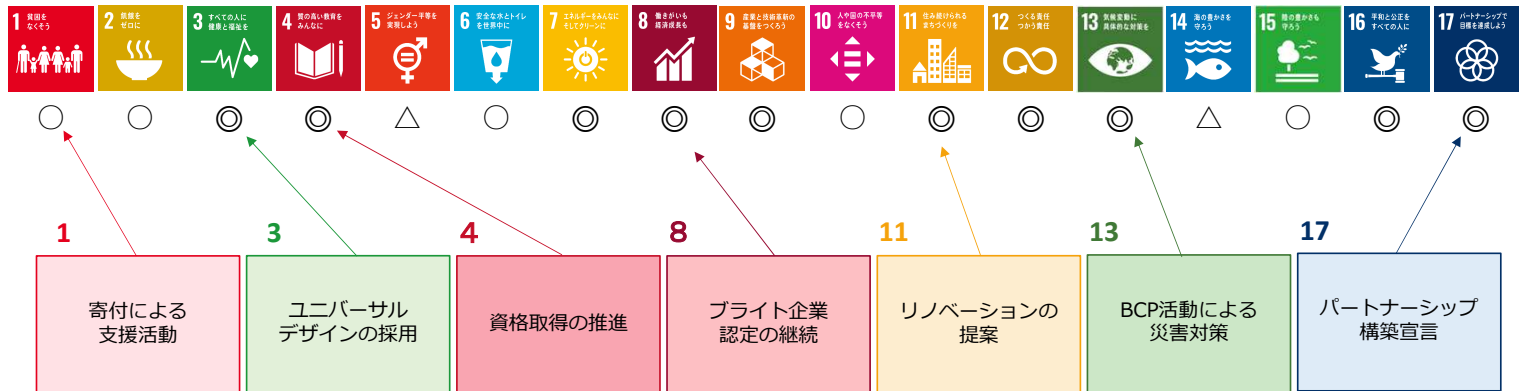


建吉組・建吉会で新年会を開催しました。  
福引き大会もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



# 12. SDGsの取組み

## 過去の取組みの振り返りと現在の取組みの紐づけ作業



## 優先取組み事項の決定



大

優先順位

小



当社では、下記の内容を重視し、取り組んでいます。

<b>1 貧困をなくそう</b> 	<b>貧困をなくそう</b> ・ペットボトルキャップの回収 ・寄付による支援活動	<b>6 安全な水とトイレを世界中に</b> 	<b>安全な水とトイレを世界中に</b> ・事業所内節水への取組み ・くまもと地下水財団登録 ・現場での快適トイレの設置	<b>12 つくる責任 つかう責任</b> 	<b>つくる責任 つかう責任</b> ・建設時のCO2の削減 ・建物カルテで定期点検の実施 ・品質マネジメントシステムの推進
<b>2 飢餓をゼロに</b> 	<b>飢餓をゼロに</b> ・3010運動の実施 ・フードドライブへの参加	<b>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b> 	<b>エネルギーをみんなにクリーンに</b> ・再生可能エネルギーの利用 (太陽光・地中熱利用換気システム) ・電気自動車の活用	<b>13 気候変動に具体的な対策を</b> 	<b>気候変動に具体的な対策を</b> ・早期からの熱中症対策 ・BCPマニュアルで災害対応 ・熱中症対策マニュアル策定
<b>3 すべての人に健康と福祉を</b> 	<b>全てのの人に健康と福祉を</b> ・ユニバーサルデザインの採用 ・オリジナルトイレトペーパー ・ウォーキングイベント	<b>8 働きがいも経済成長も</b> 	<b>働きがいも経済成長も</b> ・エンゲージメント向上 ・ブライト企業認定の継続	<b>14 海の豊かさを守ろう</b> 	<b>海の豊かさを守ろう</b> ・使い捨てプラスチックの削減 ・マイボトルの推奨 ・クリアファイルの回収
<b>4 質の高い教育をみんなに</b> 	<b>質の高い教育をみんなに</b> ・資格取得の推進 ・インターンシップの受入 ・ふるさとくまもと創造人材奨学金 返還等サポート制度への参加	<b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 	<b>産業と技術革新の基盤をつくろう</b> ・建設業務のデジタル推進 ・BIMを用いた技術の活用 ・デジタルサイネージの使用	<b>15 陸の豊かさを守ろう</b> 	<b>陸の豊かさを守ろう</b> ・建築資材の地産地消 ・自然素材の利用 ・グリーン調達の推進 ・木質化の推進
<b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b> 	<b>ジェンダー平等を実現しよう</b> ・女性社員の積極雇用 ・法定雇用率の採用充足	<b>10 人や国の不平等をなくそう</b> 	<b>人や国の不平等をなくそう</b> ・ユニバーサルデザインの採用 ・ベテラン社員の長期雇用 ・外国人労働者への労働環境配慮	<b>16 平和と公正をすべての人に</b> 	<b>平和と公正をすべての人に</b> ・コンプライアンス遵守の取組み ・各種認証認定の取得
<b>11 住み続けられるまちづくりを</b> 	<b>住み続けられるまちづくりを</b> ・リノベーションの提案 ・定期的な現場訓練 ・こどもひなの家	<b>17 パートナースhipで目標を達成しよう</b> 	<b>パートナーシップで目標を達成しよう</b> ・自治体との連携 ・パートナーシップ構築宣言 ・「無事故・無違反180日間運動」への参加		



# 13. 会社の取組み

## 事務所編

### 〇トイレットペーパー寄贈



2024年竣工の熊本工業高等学校での贈呈式

古紙の回収を行い、リサイクルに出すことで資源循環に繋がります。  
オリジナルトイレットペーパーとなり、近隣挨拶の際と竣工時にお渡ししております。  
このトイレットペーパーは手作業で1つ1つ丁寧に巻紙を巻いてあります。  
障がい者福祉サービス利用者皆さんの就労を目的として支援されています。

### 〇子どもひなんの家



～子どもを地域で守り、育てるために～

地域や校区の防犯協会などと連携し、児童生徒の安全確保に向けて積極的に取り組みます。



### 〇ヘルメット回収



使用済みヘルメットを回収し、産業廃棄物としてではなくリサイクル資源として活用しました。

これらは産業用ペレットなどに再生されることで、焼却処理の削減につながり、CO<sub>2</sub>排出量の抑制や埋立処分場の負担軽減にも貢献しています。



### 〇切手回収



災害被害者への義援金や福祉・介護用品の贈呈など様々な場所で払い出しがされます。

- ・今回提供枚数：約1,100枚（220g）
- ・前回提供枚数：約1,250枚（250g）



### 〇寄付金他支援

当社では、様々な団体・法人へ寄付や支援をしています。

- ・能登半島地震災害義援金
- ・更生保護法人 熊本県更生保護協会への寄付
- ・(公財)熊本県肢体不自由児協会の頒布活動へ寄付
- ・熊本県緑化推進委員会 緑の募金
- ・熊本市スポーツ振興への協力



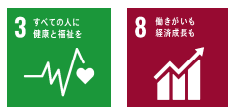
### 〇エコキャップ運動

本社および各現場にてペットボトルのキャップ回収を実施し、エコキャップ運動に参加しています。  
今年度は本社ビルのテナント様の皆様にもご協力いただき、活動の輪が広がりました。  
回収されたキャップは、CO<sub>2</sub>排出量の削減や雇用の創出など、環境保全および社会貢献に役立てられています。



- ・今回提供個数：12,212個（28.4 k g）
- ・前回提供個数：7,611個（17.70 k g）

## ○健康経営優良法人



健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）ネクストブライト1000に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。

健康経営優良法人の認定は2018年度より継続して7回目の認定です。

## ○熊本県SDGs登録制度

2021.8.25  
第1期登録

熊本県SDGs登録制度は、持続可能な開発目標（SDGs）に積極的に取り組む企業や団体を支援し、県内におけるSDGsの普及と推進を目的として熊本県が創設した制度です。当社は第1期より本制度に登録しており、現在は第2期登録事業者として継続的に参加しています。今後も登録企業として、持続可能な社会の実現に向けて、より一層の取り組みを進めてまいります。



## ○子育て支援優良企業



子育て支援優良企業

認定証

株式会社 建吉組 様

貴社が子育て世帯が安心して子育てと仕事の両立ができる働きやすい職場環境づくりを進めている「子育て支援優良企業」として認定したことをここに証します

認定期間

令和7年2月13日から

令和10年3月31日まで

令和7年 2月13日

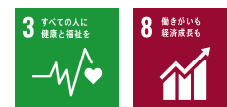
熊本市長 大西一史

「子育て支援優良企業」は、子育て世帯などが安心して子育てと仕事を両立できるよう、働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業として認定されたものです。



熊本市  
子育て支援優良企業  
認定マーク

## ○ブライト企業

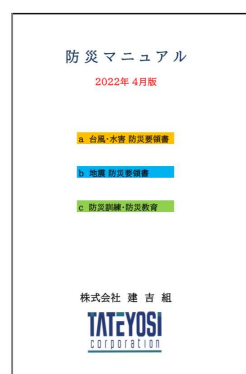


2022年10月11日に、2022年ブライト企業認定証交付式において認定証を授与されました。今後も、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業として、県内の労働力確保、就職促進につなげるため、労働環境や処遇の向上に優れた取り組みを進めて参ります。

## ○事業継続力強化計画認定



事業継続力強化計画認定制度とは中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。当社では、自然災害への備えとして、月に一度BCP委員会を開催しています。委員会では、防災マニュアルの整備、社員連絡網の確認、防災訓練の企画などを通じて、災害時における対応体制の構築に努めています。



## ○パートナーシップ構築宣言

当社は、取引先の皆様との連携を強化し、共存共栄を図ることを目的として、「パートナーシップ構築宣言」を公表いたしました。「顧客満足の向上を目指し、建設業を通じて社会の発展に貢献する」という経営方針のもと、すべての取引先とともに持続的な成長を実現できる関係づくりに取り組んでまいります。





## ○フードドライブ

2024.10.31は食品ロス削減の日

フードドライブとは…

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

10月の食品ロス削減月間に熊本県でフードドライブが実施され当社も参加しました！

当社社員、協力会社、ビルのテナント様にもお声がけし、9/20～10/4の回収期間で**45.83 kg**の食品が集まりました。



家庭で余っている食べ物



職場へ持ち寄る



フードバンクへ寄付



支援団体  
こども食堂・  
ひとり親家庭等へ



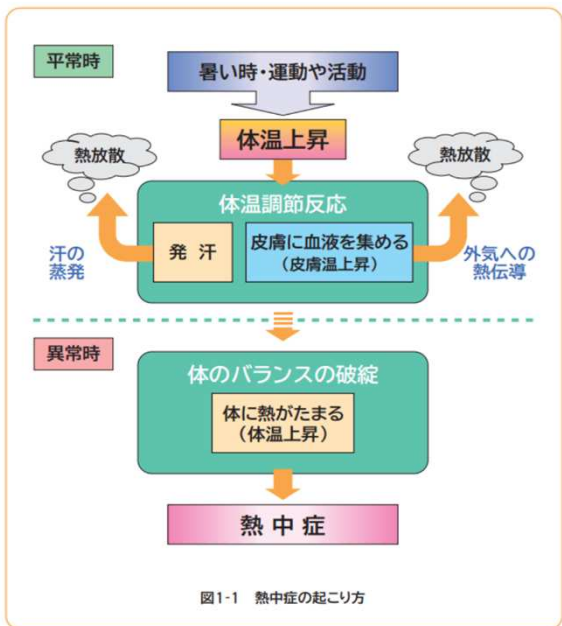
## 現場編



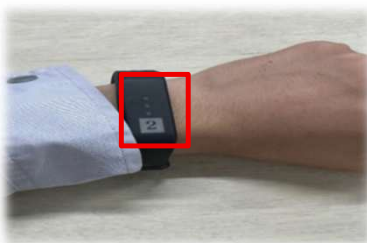
## ○熱中症対策

### 1. 熱中症と対策

熱中症とは、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態をさします。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。



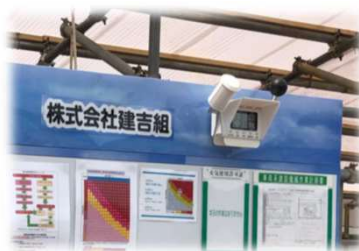
- 熱中症マニュアルの策定



- 暑熱バンドの配布



- カオカラによる体調確認



- 熱中症指数計



- シャワーヘッドの設置



- 休憩所に会社ごとの  
体調チェック管理シートを設置



- 遮光カーテンの設置

## ○環境保全対策



① さく井 掘削泥水  
ノッチタンクへ1次排水



② 無機系凝集剤 混入



③ 混入後、攪拌

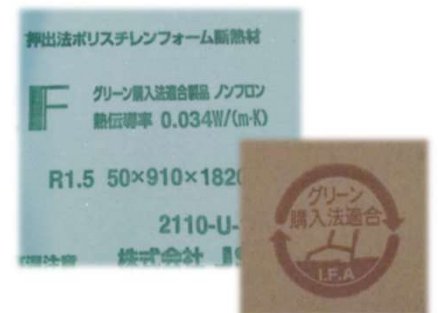


④ 沈殿（30分経過）

### ●さく井工事における泥濁水処理

掘削汚泥をノッチタンクに貯めて、無機系の凝集剤を投入し攪拌することで、中和しつつ、汚泥を沈殿させ、水質改善された浄化水に処理することができるようになりました。

### ●排出ガス対策建設機械



### ●グリーン購入法 適合製品の使用



### ●再生アスファルトの使用



### ●在来型枠とシステム型枠 の併用

## ○社会貢献

現場設置率100%達成！！

自販機手数料の一部を  
寄付しています。



### ●募金式自動販売機

## ○ODX推進



### ●デジタルサイネージ

現場の仮囲いにデジタルサイネージを設置しています。この写真は、教育施設の現場のもので、施工内容や完成後のイメージの3D映像を放映することで、子供たちに完成を楽しみに待っていただけるような工夫をしています。



# 14. 2025年度の各部目標

## 総務部

- ・職場の4S（整理・整頓・清掃・清潔）の活動の徹底
- ・バックオフィスのIT推進
- ・電子契約システム導入によるペーパーレス化の推進
- ・協力会社へのSDGs・ESG周知
- ・環境経営の取組の理解向上を目的とした教育の実施

## 営業課

- ・顧客との関係強化による継続受注
- ・空調設備・照明器具等の省エネにつながるリニューアル提案
- ・システム建築の提案による炭素量削減
- ・電子契約によるペーパーレス化の推進
- ・移動効率を考慮した計画訪問によるCO<sub>2</sub>削減
- ・環境配慮型ノベルティを用いた近隣挨拶の実施
- ・顧客の環境配慮ニーズに応える為の知識教育実施



## 積算課

- ・積算データのクラウド共有効率向上
- ・水源地周辺の地下工事見積りにおける地下水汚染対策費用の計上
- ・グリーン購入法品目、環境配慮資材の見積採用
- ・解体・改修工事見積りにおける石綿含有建材調査・適正処理費用の計上
- ・ワークシェアによる業務効率化
- ・積算ができる人材の育成の教育

## 設計課

- ・環境法令、条例、省エネ関連法の遵守
- ・脱炭素(木造提案年間1件以上)及び最適な各種システム建築の提案
- ・グリーン購入・環境配慮資材提案、採用
- ・BIMの提案および実施設計段階での活用を通じた業務効率化の推進
- ・社内書類電子押印等による業務効率化と紙削減
- ・フィードバックを用いた教育に依る設計精度向上

## 建築課

- ・週休2日の実施
- ・時間外労働の上限規制の遵守
- ・現場における環境保全活動の推進
- ・環境配慮資材・工法・機械の採用
- ・現場で想定される災害に対する訓練の実施
- ・技術継承に向けた教育
- ・施工BIMの活用を通じた業務効率化の推進



# 15. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 全体の評価

2024年度の環境経営活動を通じて、エネルギー使用量の削減、廃棄物の適正処理、地域との環境コミュニケーションなど、計画した目標の多くを達成することができました。一方で昨年に続き水の使用量については本社及び現場で目標達成は出来ませんでした。これは猛暑日対策による使用料の増加が原因のため、今後も気候変動による気温上昇を注視しながら環境と健康と安全の両立を図りたいと思います。

環境経営の取り組みは、単なるコスト削減や法令遵守にとどまらず、企業としての社会的責任を果たす重要な活動であると認識しています。今後も、社員一人ひとりが環境意識を持ち、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、継続的な改善に努めてまいります。

目標達成に向けたアイデアを日々の業務の中で考え、現状に満足することなく常に改善・改良を積み重ねながら、可能であれば全項目の達成を目指して、本社と現場が一丸となって環境マネジメントシステムの推進を継続していきたいと考えています。この取り組みにおいては、PDCAサイクルを意識し、継続的な環境パフォーマンスの向上を目指してまいります。

## 全体の見直し

No.	項 目	有無	見直し事項
1	事業概要	有	完工高、社員数の変更
2	組織概要・対象範囲	有	建設業許可の変更
3	課題とチャンス	有	内容一部変更
4	環境経営方針	有	内容一部変更
5	環境活動の実施体制（2024年度・2025年度）	有	環境統括責任者の変更
6	環境への負荷実績・環境経営目標	有	表示形式、中期目標の変更
7	2024年度環境経営計画の取組内容	有	取組内容追加
8	環境法規制遵守チェックリスト	無	
9	建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	無	
10	G E Oパワーシステム	有	内容一部変更
11	年間行事	有	内容変更
12	S D G s の取組み	有	マッピングの内容・順番の変更
13	会社の取組み	有	内容変更
14	2025年度の各部目標	有	各部目標見直し

2025年7月

株式会社 建 吉 組

代表取締役

世原 健嗣



# 株式会社 建吉組

---

〒860-0863

熊本市中央区坪井6丁目38番15号

TEL 096-343-1111

FAX 096-345-6711

<https://www.tateyosi.co.jp>